

よこすか E C O 通信



第20号(平成28年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

環境にやさしい交通

電車、バス、クルマ、自転車、徒歩など、様々な移動手段がありますが、日常生活の中で、何を選択することが多いですか？

「環境にやさしい工夫」を考えると、移動手段にも目を向けてみてはいかがでしょうか？

交通は、社会・経済活動など、日々の暮らしに欠かせないものですが、一方で、大気汚染、騒音・振動、温室効果ガスといった様々な環境問題の1つともなっています。

一般に、輸送量が増加すれば、CO₂の排出量も増加します。輸送量あたりのCO₂排出量では、1人1km運ぶのに、電車ならクルマの約9分の1、バスなら約3分の1と言われています。国土交通省では、効率の良い輸送を促進することが重要であるとし、CO₂の排出量の削減に取り組んでいます。

日々の暮らしに欠かせない交通だからこそ、「環境にやさしい」を考え、賢く使い分けてみませんか。

クルマと環境、エコドライブ！

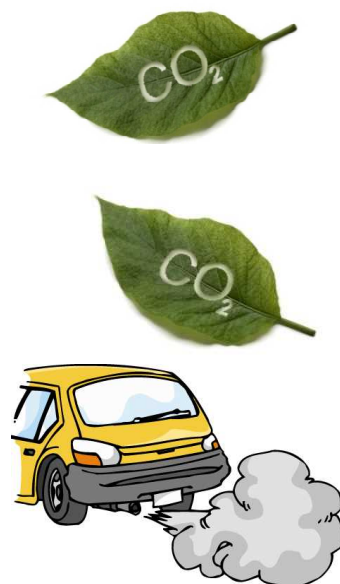
CO₂排出量からも分かるように、一般的に、公共交通機関の利用は、クルマよりも環境への負担が少ないと言われています。

クルマは、非常に便利で、生活に不可欠な交通手段ですが、過度な依存は、環境問題や交通事故、渋滞などの問題につながっていきます。クルマに依存するのではなく、必要に応じて選択してはどうでしょうか？

もしも、クルマを選んだ時には、無理のない範囲で環境にやさしい運転を心掛けましょう。

環境にやさしい運転～エコドライブ10箇条～

- ・ふんわりアクセル「eスタート」
- ・車間距離にゆとりを持って、加速・減速の少ない運転
- ・減速時は早めにアクセルを離そう
- ・エアコンの使用は適切に
- ・ムダなアイドリングはやめよう
- ・渋滞を避け、余裕をもって出発しよう
- ・タイヤの空気圧から始める点検・整備
- ・不要な荷物はおろそう
- ・走行の妨げとなる駐車はやめよう
- ・自分の燃費を把握しよう



(参考) ・国土交通省「環境」
・交通エコロジー・モビリティ財団「交通環境対策事業」

裏面には季節の自然図鑑「サクラの野生種」の掲載があります。



春の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

企画展示「土・石・木・器のかたち」

～いれものからみる横須賀の歴史～

日 時 6月5日(日)まで

場 所 自然・人文博物館 3階特別展示室

内 容 出土遺物や収集資料の中から、近代以前の器に焦点を絞り展示します。

トピックス展示

○「新着標本2016」

日 時 4月17日(日)まで

場 所 自然・人文博物館

○「火の用心-火災で歪んだ?土器たち」

日 時 4月24日(日)まで

場 所 自然・人文博物館 常設展示室



自然観察会「海藻入門」

日 時 4月23日(土) 10:00～15:00

場 所 天神島臨海自然教育園

定 員 20名(抽選)

対 象 小学生以上(ただし、小学生は保護者同伴)

締 切 4月9日(土)

申 込 往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ
・希望者多数の場合、市内在住者を優先します。
・野外の催しは参加費50円が必要です。

問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688

横須賀市地球温暖化対策地域協議会 「緑のカーテン作り方講習会」

日 時 5月11日(水) 14:00～15:30

場 所 ヴェルクよこすか(勤労福祉会館)6階ホール

内 容 「緑のカーテン」は、窓の外にネットなどを張り、ゴーヤーなどのツル性の植物をはわせて室内を涼しくします。講師が「緑のカーテン」の作り方をわかりやすく説明します。参加者にはゴーヤーの苗を差し上げます。

定 員 先着100名

申 込 4月13日(水)～30日(土)

横須賀市コールセンターへ

電話 (822)2500

FAX (822)2539

問合先 横須賀市環境企画課 電話822-8524



小中学生の土曜体験プログラム すかっ子セミナー2016

対 象 市内の小学校3年生～中学生(原則)

活動期間 各コース 5月～10月の土曜日1回(9月を除く)

全体会 5月15日(日)オリエンテーション、まなびかん

11月19日(土)合同発表会、まなびかん(予定)

主 催 市民活動団体による「すかっ子セミナー実行委員会」
[募集コース]

コース	分野・コース名	募集人数
1	生活環境 エコニコ・サークル	5
3	地域文化 むかしあそび in 万代会館	12
5	自然系A 川がき探検隊	20
6	自然系B 自然博士になろう	10
8	自然系D 海っ子・山っ子	15
9-1	自然系E ヨット・クラブ(体験組)	8
9-2	自然系E ヨット・クラブ(根性組)	3
10	創作科学 創作科学クラブ	10

費 用 1コース4,000円、2つのコース受講の場合7,000円
9コースは、他に特別参加会費(体験組)10,000円

特別参加会費(根性組)30,000円

申 込 学校等に配布の「募集チラシ」を確認の上、申込むこと

問合先 電話046-823-1965(YPS 事務局 藤澤)

みんなで里山手入れ

～里山の自然を使って、楽しい企画やものづくり～

○講習会(里山林手入れ・田んぼづくり)に参加して、新しい仲間づくり

○里山林手入れ講習会

沢山池の里山(長坂5丁目)で、大きな木を切って、その木で垣根や階段作り、コナラの林やキノコ作り

(6/11、7/9、10/22、11/12、12/10、1/14 午前中 いずれも土曜日)【予定】

○田んぼづくり講習会

どろんこになりながら、田んぼでお米を作り、生き物観察しながら汗かき作業

(5/28、6/5、7/2、7/23、9/17、10/1 午前中)【予定】

○初夏の自然の中で身体を動かす

(例えばヨガや骨盤体操) (6月4日予定)

○里山にあるもので、門松やリースづくり (11月予定)

○自然観察会 (3月予定)

詳しくは里山ホームページ

<http://yokosuka-satoyama.jp/index.html>

又は、広報よこすかでご確認ください。

問合先 横須賀市自然環境共生課
〒238-8550 横須賀市小川町11
電話822-9749、FAX821-1523
E-mail sato-eco@city.yokosuka.kanagawa.jp



市街化区域内における 樹林地の保全支援制度

横須賀市では、身近なみどりを保全することを目的に、市街化区域内にある樹林地の土地所有者へ保全支援金をお支払する制度があります。樹林地の面積が500㎡以上あり、地目が山林又は雑種地の場合は、本制度の対象となる可能性があります。詳しくは自然環境共生課までお問い合わせください。

問合先 横須賀市自然環境共生課

〒238-8550 横須賀市小川町11

電話822-9553、FAX821-1523

E-mail ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

※横須賀市主催の事業については議会の議決を受けて実施するものです。

よこすか環境フォーラム2016

1月23日（土）にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「よこすか環境フォーラム2016」が開催されました。午前の部では表彰式、午後の部では、横須賀ECO大賞を受賞された団体や、小・中学生による環境活動のステージ発表、JAMSTEC（海洋研究開発機構）の有人潜水調査船「しんかい6500」の完成25周年にちなみ、「しんかい6500」や「しんかい2000」の初代パイロットである田代省三氏による講演も行われました。会場の皆さんからたくさんの質問があり、大変盛り上がりしました。

◆ステージイベント

①表彰式（11:00～12:10）

横須賀ECO大賞
夏休みエコチャレンジ
環境ポスターコンクール



②発表！私たちのエコ活動（13:30～14:10）

市内の環境活動の発表。

- ・野比東小学校 ・追浜中学校科学部
- ・久里浜小学校 ・三浦半島「自然ふれあい楽校」

③JAMSTEC講演会（14:20～15:40）

有人潜水調査船「しんかい6500」完成25周年
「夢を！深海へ！！」
～To the deep sea with our dreams！～
田代省三氏による講演。



◆フロア展示

- ・環境活動の展示
- ・「環境ポスターコンクール」入選作品展
- ・チャレンジ！環境クイズラリー
- ・スカリンへ環境メッセージ



第5回横須賀ECO大賞 受賞団体

よこすか環境フォーラム2016内で、第5回横須賀ECO大賞の表彰式が行われました。受賞された団体の皆さま、おめでとうございます。

《大賞》

三浦半島「自然ふれあい楽校」

湘南国際村めぐりの森を拠点とし、地域の歴史や風土、生物多様性に配慮し環境を保全、再生に取り組んでいます。

《部門賞》

○地域活動部門賞

NPO法人横須賀防災支援会

海上安全航行並びに海難防止のため、海上安全指導、海上における安全確認と航行指導や海上の浮遊物、漂流ゴミの収集活動などを行っています。

○学校・園部門賞

武山小学校「みどりのくにプロジェクト」

武山小学校の保護者が参加し、校舎裏を整備し、自然豊かな「みどりのくに」再生に向けて取り組んでいます。

《特別賞（地域科学精励賞）》

追浜中学校科学部

部の活動として、鷹取川8箇所の水質調査と、流域で見られる生物の調査を実施しています。

次号から、受賞団体について詳しくご紹介します。



「春」といえば「桜」を思い浮かべる方も多いと思います。サクラは昔から日本人に愛され、多くの園芸品種がつくられてきました。市内の街路樹や公園では、カワツザクラやソメイヨシノをはじめ様々なサクラを見ることができます。その中に野生のサクラはどのくらいあるのでしょうか。身近に見られるサクラの野生種を紹介します。

オオシマザクラ

「横須賀市の木」でもあるオオシマザクラは、市内の山林に普通に見られるサクラのひとつです。本来の自生地は伊豆諸島ですが、材や薪炭用に植えられたものが野生化しています。材として利用されるだけでなく、桜餅を包む葉にも使われます。白い花びらと緑色の新葉が特徴的です。



ヤマザクラ

もともと本州・四国・九州の暖かい地域に広く分布し、植栽もされるため、多く見かけます。オオシマザクラと同様に、花と葉がほぼ同時に開きますが、新葉や花びらが赤みをおびる点でオオシマザクラと区別できます。



この他、三浦半島で見られる野生のサクラの仲間には、小さな白い花をたくさんつける**イヌザクラ**や**ウワミズザクラ**があります。また、三浦半島に自生はしていませんが、よく栽培されている**エドヒガン**も野生のサクラの一種です。葉や花の柄に毛があり、葉より先に花が開く特徴があります。身近なサクラであるソメイヨシノは、このエドヒガンの系統とオオシマザクラの雑種由来だといわれています。

(横須賀市自然・人文博物館 山本 薫 学芸員)

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行:横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力:横須賀市自然・人文博物館
発行元:〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL:046-822-8327、FAX:046-821-1523、E-mail:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp
☆ HPは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)
<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

